

令和4年度 大阪府立伯太高等学校運営協議会 第2回議事録

令和4年11月5日（土）10:00～12:00

記録：小川

協議会委員参加者

鎌田 聖子 (令和4年度PTA会長)
田中 恒子 (地域教育相談員)
山野 正広 (和泉市総務部 人権・男女参画室長)
原田 尚史 (和泉市立和泉中学校長)
西田 芳正 (大阪公立大学教授)
富永 順三 (ナレッジパートナー代表取締役)

学校教職員参加者

大崎 弘司 (校長)
北出 眞理 (教頭)
津田 等 (事務長)
小川 敏和 (首席・進路指導部長)

その他参加者

横山 創一 (生徒指導部長)

- (1) 会長挨拶
- (2) 校長挨拶
- (3) 生徒・学校の状況
 - ①生徒指導上の取り組み (生徒指導部長より)
 - ②3年生進路状況 (進路指導部長より)
- (4) オープンスクール体験授業の見学
- (5) その他 (令和5年度使用教科書について)
- (6) ①令和4年度学校経営計画の進捗状況 (校長より)
 - ②スクールミッションについて
- (7) 意見交換
- (8) 校長謝辞

[主な報告、質問、意見等] ◇は報告内容、○は質問、→は答え、●は意見や感想

生徒指導関係

◇頭髪指導については、注意喚起により、改善状況は良くなっている。服装についても非常に良くなっている。

◇交通マナーについての立ち番等の対策の下、指導にあたっている。

◇近隣の方の捉え方は、生徒の様子がよくなったねと声をかけてもらえることが多くなった。

●高校生に限らず、自分事として捉えられない子が増え来てきたように思う。

○遅刻回数に見える化はいつからやっているのか

→1年生は4月から、他学年は生徒自身が考えて行動するためにあえてやっていない。

○やると違うか？

→例年に比べると少なくなっている。

進路指導関係

◇今年度も進路希望状況については大きくは変わらず、就職が30%程度、専門学校進学が50%程度、大学・短大進学が15%程度。

◇大学入試に関しては、評定との兼ね合いもあるが、プレゼンテーション等を活用した総合型選抜による志願者が近年増えてきている。授業で学んだことを生かそうとする生徒が増えてきた。

◇就職に関しては、大きく分けると学校斡旋、自己開拓、公務員になるが、ここ数年の希望者の数に大きな変化はない。内定率についてはおかげさまで90%を超えているが、高卒就職を希望している生徒の数そのものが、本校に限らず全体で減少しており、求人数も数多くいただくが、充足せずに2次募集を出す企業がかなり多い。これからの就職指導についてもいろいろと考えていかないといけない。

○就職試験の大まかな指導の流れはどのようなものか？

→本格的な指導は6月から始まる。その後、面接指導や求人票閲覧、職場見学を経て、お盆のあたりで企業決定面談を各クラスで行っている。応募書類は9月5日以降の到着、試験解禁は9月16日以降と決まっている。

○これからは向けてどう考えていこうと思っているか？

→職種によっては公開でないと探せないものもあるので、全てがというわけにはいかないが、指定校推薦の意義も含めて、お付き合いの長い企業を大切にしていけないといけないと改めて感じている。

その他

○教科書は大きく変わったのか？

→変わった、1年生からは新しい教科書になったので今までのものは使えない。

○中学校のタブレット端末配布状況はどうか？

→全員に配布している。

●小学校は1年生から持っている、毎日持って帰らせているが、宿題を出すとなると大変だとよく聞く。

◇現在は充電保管庫で一括保管し、授業で使用するときに持って移動させている。

校長より

- ◇2, 3年生は使用状況が増えてきた。1年生は充電保管庫がないので使用状況が低い。これからに向けて検討中。
- ◇もっと頑張ろうとする生徒をどうやって引き上げていくのかを考えていくことも今後必要になってくる。
- ◇キャリア教育については、1, 2年生で継続的に実施している。昨年度以上に企業の方々も内容等を刷新していただいております、充実してきている。1年生から実施しているのは、早い段階から考えさせたいから。
- ◇考えたこと、調べたことを相手に分かりやすく伝えることを大切に学ばせたい。そのために、外の人の話も聞きながら早い時期から考えさせたい。